

第401回 昭和の森自然観察会

初心者向けバードウォッチング

奥村 和男（習志野市）

日 時：2026年1月11日（日）10：00～12：00 天候：曇り

参加者：26名（大人23名、子ども3名）、指導員7名、管理事務所1名

担当指導員：坂本、奥村

「風が強くても鳥は見られますか？」と問い合わせがあるほどの強風での観察会でしたが、26名の参加者と共にバードウォッチングをしました。しかも、6割くらいの方が初めての参加者でした。

まずは 山口さんからモズのレクチャー。坂本さんが撮影したモズの雌雄の写真を使い、雄雌の違いや「はやにえ」について解説がありました。実際に観察できれば良かったのですが、運悪くモズには出会えませんでした……。初心者の方には実物を見てもらい、カモの羽の構造色の美しさを実感してもらいたいのですが……。なかなかじっくりと鳥を観察できません。しかし、観察会の前に見られたルリビタキや下見で見られたアカハラやシロハラなど、坂本さんの美しい鳥の写真を見ながら観察会が進んでいきました。途中でシメやセグロセキレイをじっくりと観察。セグロセキレイは「ジジ、ジジ」と濁点の入る鳴き声を聞くことができました。また、メジロの「チー」という鳴き声を聞きながら、坂本さんからメジロの聞きなしについて説明がありました。「長兵衛（ちょうべえ）、忠兵衛（ちゅうべえ）、長忠兵衛（ちょうちゅうべえ）」と「チルチルミチル」という聞きなしは知っていましたが、「千代田の城は千代八千代」は初めて知りました。

池ではカモの観察です。ここではマガモやカワウ、オオバンなどをスコープでじっくり観察できました。特にマガモの雄の羽の構造色をしっかりと見ることができました。

観察できた鳥は、マガモ、ホシハジロ、カワウ、アオサギ、オオバン、コゲラ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、メジロ、ムクドリ、トラツグミ、ルリビタキ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ビンズイ、シメ、アオジの計20種類でした。参加者からは、「鳥の姿を目で探すだけでなく、耳で鳴き声を探すことを知った」や「今まで知らなかった発見がたくさんあり、青春時代に戻った気がする」などの感想をいただきました。



セグロセキレイ（撮影 坂本氏）



観察風景（撮影 梅宮氏）



シメ（撮影 坂本氏）